

## 遺愛同窓会東京支部クリスマス会、 ハリスご夫妻の墓前礼拝に行ってきました。

今年12月5日(金)に、遺愛同窓会東京支部総会とクリスマス祝会が青山学院のアイビーホールで開催されました。いつも前日の14:00から遺愛学院を創設されたハリスご夫妻の墓前礼拝を行いますが、こここのところ所用で出席できないでいましたが、今年は久しぶりに参加できました。あいにくの雨で礼拝そのものは青山福祉会館の一室で行いましたが、墓前で短いながらも祈祷の時をもちました。140年前にハリスご夫妻が開国間もなく生命の危険もあった函館にどのような使命をもっていらしたのか?その使命を私たちはしっかりと確認し、継承しつつ教育の業にあたるべきことを改めて心に刻みました。

5日はとても良いお天気に恵まれ、青山学院のアイビーホールで東京支部のクリスマス礼拝、祝会がもたれました。

礼拝では、30年以上前に日本基督教団函館教会の牧師をなされ、遺愛学院の理事も担って下さった渡辺正男先生から素晴らしいメッセージをいただきました。…一度はマリアと離縁しようと思ったヨセフでしたが、心の深いところで主の促しを受け、自分と直接血のつながりのないイエスを許嫁マリアが産むことを受け入れる「人をいかに(思いやる)愚かさ」を生きたことに、遺愛の三大精神『信仰・犠牲・奉仕』を見ること。また、思いやるヨセフは思いやるイエスを証ししていることをお話しされ、自らの歩みをふりかえり、心の深いところで主の促しを聴き、最終的には主のはからいに委ねる生き方を奨めて下さいました。渡辺先生は77才の現在も多摩全生園の秋津教会、引退牧師のホーム「にじのいえ信愛荘」の主日礼拝説教を担当されています。

祝会は180名以上の同窓生が集い、懐かしい遺愛の思い出話に華を咲かせ、とても楽しい一時でした。

2014年12月9日(火)

青山学院アイビーホール礼拝堂



ハリス夫妻のお墓(青山墓地)



米寿を迎えた同窓生のお祝い